

平成24年度FDセミナーの報告

教育改善推進室長

平成23年度の第3回FDシンポジウムにおいて、大阪府立大学高専の北野健一先生を講師に迎え、ティーチング・ポートフォリオに関する実習を伴った講演をしていただきました。その講演では自分自身の教育活動を分析し省みるが行なわれ、それら活動から出てきたいろいろな活動項目を参考にして、今回のFDセミナーの内容を考えてきました。その結果として、次のテーマが決まったわけです。

【FDセミナーでのテーマ】

- ① 授業実践で大切にしていること
 - 具体的項目： *授業進行の技術, *授業準備・教材
- ② 授業改善のポイント
 - 具体的項目： *具体的に何をしたか, *何を参考にして改善するか
- ③ 教員を続ける原動力
 - 具体的項目： *教員として大きな壁にぶつかった時
*一歩踏み出せた要因
- ④ クラス運営のポイント
 - 具体的項目： *困ったこと, *工夫したこと
- ⑤ 学生に身につけさせたいこと
 - 具体的項目： *生活面, *学習面

これらテーマで忌憚なく意見を交換し合い、教員相互の理解を深め、自己の教員としての資質向上に役立てていただくことを目標に開催しました。

では、詳しくFDセミナーの様子を報告していこうと思います。

平成24年度2回目の教育改善推進室主催の行事であるFDセミナーは、67名の参加者を得て、新年の挨拶を兼ねた校長のお話より始まりました。平成25年1月9日（木）午後1時30分のことです。

できるだけ意見交換に時間をとりたいということで、校長の挨拶の後、簡単な意見交換会場や日程の説明をして、それぞれの班別討議会場に分散していただきました。5テーマのそれぞれを2班で意見交換していただき、その後、同じテーマの2班が合流して、発表に向けてのまとめをしていただく段取りにしました。

日頃、「忙しい」，「年始早々FD セミナー？」などと愚痴をいわれておられた先生も，いざ意見交換が始まりますと，口角泡をとばすとまではいきませんが，熱く語っておられました。やはり，教員同士の日ごろからの意見交換を如何に教員自身が欲しられているか，また如何に重要かを再確認しました。

では，班ごとの1時間10分，合同の20分で行なわれた意見交換の内容を，それらの後で行われた全体会での発表から拾ってみたいと思います。

発表は模造紙に貼られたいろいろな意見をまとめながら説明する形で行なわれました。

*【 】内は項目あるいはキーワードです。

1. 第1・2班「授業実践で大切にしていること」

【進行詳細準備】

① 授業リハーサル，② 授業の起床転結，③ 遅刻をしない，

【自作プリント】

① 自作のプリント作成，② 理解度の確認，③ 理解度の補強，④ 演習問題の準備，

【動機付け】

① 例の提示と応用問題の解答提示，② 身近な問題を探す，

【マルチメディア】

① スライドやビデオ教材の利用，② 板書の内容や量を点検する，③ 実験では，失敗した例を紹介する，

【教材の選択】

① 分かりやすい説明の工夫，② いろいろな教科書，参考書で教材勉強，

【教材の選択】

① 宿題の採点は自分でさせる，

2. 第3・4班「授業改善のポイント」

【教材・ツールについて】

① 授業内容を補間するもの，② 演習プリントの作成，③ スライド等での字の大きさを考える，

【授業での取り組み】

① 双方向の授業，② 注意，学生指名の工夫，③ 演習課題の作成，

【興味を持たせる】

① 数学の理論で現実の現象を説明する，② 建築の作品紹介，③ 現実的例や事物を授業にとり入れる，

【スキルアップ】

① 資格の内容・レベル等の情報収集， ② 試験結果， アンケート， 授業態度などの分析，

【動機】

① クラスの雰囲気作り， ② アンケートなどから学生の意見を汲み取る，

【改善資料】

① 授業参観， ② 校外実習訪問などで得る社会情報の分析，

3. 第5・6班「教員を続ける原動力」

【教育上の悩み】

① 学校システム， ② 先輩との対話

【クラス運営】（纏め難かった）

① 他の教員からのアドバイス， ② 保護者からの意見， ③ 学年団での意見交換， ④ 問題を起こした学生の社会での活躍を祈って指導， ⑤ 学生の成長する姿がみれる， ⑥ 学生の自主力を見て刺激を受ける，

【研究とのバランス】

① 卒業研究のレベル設定が難しい， ② 教員の研究が授業で活かされたとき達成感を感じる，

【学生指導】

① 学生との距離感が難しい， ② 学生との接し方が難しい，

【職業観】

① 指導する立ち位置に悩む， ② 異業種の人たちとの意見交換が役に立った， ③ 資格試験を見て， レベル設定をした，

【授業】

① Fの多い科目の指導， ② 学科間格差への悩み， ③ 日常会話も含めて教員との情報交換が大事， ④ 補習を通しての学生指導， ⑤ 教員サポートが必要， ⑥ 夜の懇親会も意見交換機会である，

4. 第7・8班「クラス運営のポイント」

【工夫したこと】

① 可能な限り顔をだす， ② 学生と一緒に掃除をする， ③ 学年によって差がある， ④ いじめや留年生に注視する，

【勉強指導】

① やる気がでない学生の指導， ② 成績不振者の指導， ③ 目標を持つ指導，

【生活指導】

① 人間関係は高学年になると落ち着く， ② 日直などのをキッチリと指導， ③ 高学年になると掃除をしない，

【進路指導】

① 編入試験や就職関係の情報提供,

【HR・AG】

① 効果のあるHR実施の仕方, ② 高学年になるとクラス委員も決め易い,

【保護者】

① 保護者へは教員が直接連絡する方が良い, ② 学生, 保護者との連絡, 会話は重要, ③ クラス便りの発行,

5. 第9・10班「学生に身につけさせたいこと」

【生活】

① 規則正しい生活, ② 挨拶をする, ③ 充分睡眠をとる, ④ 最低限の身だしなみ, ⑤ 社会情勢を知る, ⑥ 保護者へは教員が直接連絡する方が良い, ⑦ クラス便りの発行, ⑧ いじめや留年生に注視する, ⑨ 学生, 保護者との連絡, 会話は重要,

【学習】

① 授業に参加し提出物をだす, ② 分からないことをそのままにせず解決する, ③ 自ら学ぶ姿勢, ④ 嫌なことでも実行する, ⑤ チャレンジ精神, ⑥ 将来への展望,

以上で報告を終わります。